

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)大阪産官学民オー	階数	地上9F
建設地	大阪府吹田市山田丘1-1及び2-1	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	142 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年10月23日
敷地面積	994,412 m ²	作成者	笹村欽也
建築面積	647 m ²	確認日	2017年10月23日
延床面積	4,893 m ²	確認者	笹村欽也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 本施設は産官学民が共同し、最先端研究が可能なオープンラボとして、更新性・フレキシビリティの高さに配慮した大学研究棟の計画である。		その他 隣接する既存棟(テクノアライアンス棟)と高さをそろえるとともに、テクニカルバルコニーや南面窓位置を踏襲することによる外観上の調和を図っている。
Q1 室内環境 シックハウスに配慮した建材を使用している。(F☆☆☆☆の建材を使用)	Q2 サービス性能 実験室・研究室の天井高を2.8m確保し、圧迫感の無い室内環境としている。カードキーによるセキュリティ設備導入を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地全体で条例基準(16%)を大きく上回る緑化率(27.68%)を確保することで、ヒートアイランド対策に貢献できるよう配慮している。浸透枳を設置し、雨水流出を抑制する計画としている。
LR1 エネルギー LED照明を使用するなど、高効率な設備機器を採用し省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル配管・エコケブルなど、環境に配慮した資源を採用している。	LR3 敷地外環境 省エネルギー技術の導入により、年間CO ₂ を31.0t削減する計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0095

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	大阪産官学民オープンイノベーション拠点					
		建設地	大阪府吹田市山田丘1-1及び2-1					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★★				B+		
	CO2削減	★★★★★				4		
	省エネ対策	★★★★★				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.9	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	1.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.4
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			4.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		再生可能エネルギー利用設備の導入無し						